

我が校の強み弱み分析・評価シート

大津市立唐崎中学校

○調査目的

- ◇義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- ◇学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- ◇そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

【結果について】

《概要》

平均正答率は、国語、数学とも、全国平均を2～3ポイント程度下回る数値でした。生活習慣・学習習慣および自己有用感については、全国平均を上回る項目がある一方、規範意識については、全国平均を下回る項目がありました。ICT機器の活用に関しては、利用頻度等多くの項目で全国平均を上回る状況でした。また、教師や友達との関係に満足している生徒が多く、全体的に充実した学校生活を送っている一方、将来の夢や目標、地域への関心を持つことに対する弱さが課題といえます。

《強み・弱み》

〈国語〉強みは、文脈に即して漢字を正しく書くことができることと、短歌の内容について、描写を基に捉えることができることです。これは、普段の授業から丁寧に漢字指導を行っていることが効果的で、日々の取り組みが漢字の定着につながっていることや文章をきちんと読むことに力を入れており、読み取る力が身につけてきたことが考えられます。弱みは、意見と根拠など情報と情報との関係について読み取ることが苦手な生徒が多いことと、話し合いの話題や展開を捉えながら、他者の発言と結び付けて自分の考えをまとめることが苦手なことです。理由としては、文章を正しく読むことが目標となっており、文章から読み取ったことを「情報」として取り扱うことができていないことや出題された問題から、「問題の意図」を考え、答えに適切な根拠を持たせることができていないからであると考えられます。

〈数学〉強みは、県平均と比べて、関数の分野の正解率が高かったことと知識の領域は全国平均を超える問題があったことです。これは、普段の授業を真面目に取り組む生徒が多いことと、「学びあい」や「SL」の時間も、意欲的に粘り強く取り組んでいることが考えられます。弱みは、全体的にどの分野も弱いことと、思考の問題はほとんどの問題で正解率が低いことです。また、無回答の割合が全体的に多いことも挙げられます。理由としては、出来なかった問題を振り返ることができていないことや、解けない問題を諦める生徒が多いことに加え、基礎基本が定着していないことや、家庭学習ができていないことが考えられます。

〈生徒質問紙〉

- ・全国平均と比較して特に良い傾向が見られる主な項目：「朝食を毎日食べていますか」「自分には、よいところがあると思いますか」「先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか」「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか」「普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか」
- ・全国平均と比較して課題が見られる主な項目：「将来の夢や目標を持っていますか」「人が困っているときは、進んで助けられていますか」「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」

【指導の充実に向けて】

- ◇探究的態度を育むような課題設定を工夫し、「主体的・対話的で深い学び」を実践するための授業改善に取り組みます。
- ◇学んだことや意欲、問題意識等が家庭学習や次の授業につなげられるよう、授業の時間内に、「まとめ」や「振り返り」の時間を確保し、それらの質的な改善に取り組みます。
- ◇どの教科においても、「話すことや聞くこと」、「書くこと」など表現させる取り組みを通して、言語活動の一層の充実にむけた取り組みを進めていきます。
- ◇ICT機器を活用し視覚的にもわかりやすい工夫や、ユニバーサルデザインを意識した授業を展開していきます。